

取組みの主な進捗状況

生活のDX

「ふくeco」アプリの運用を開始しました！



県では、身近な省エネ活動に楽しく取り組むために、「ふくeco」アプリの運用を令和6年6月から開始しました。県民自らが、脱炭素につながる行動に取り組むことで、ポイントがたまりやすくなります。2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、「ふくeco」アプリを活用し、県民の脱炭素の取組みを応援していきます。

未来の没入型音声ガイドが年縞博物館にて導入！

未来技術活用プロジェクトにて昨年度実証を行った、MR技術を活用した未来の没入型音声ガイドが、年縞博物館で本格的に導入されました。博物館の展示物の魅力を最大限に引き出し、多言語対応も行います。



産業のDX

ふくいデジタル推進アライアンスが発足！



県内企業のデジタル活用を推進し、業務の高度化や人材の育成を図り、地域経済の活性化に繋げることを目的に、「ふくいデジタル推進アライアンス」が発足しました。7月3日にはセミナーを実施し、今後もデジタル活用に関する様々な活動を実施していきます。

ドローンを使った効果的な散布システムを開発！

ドローンによる農業散布では飛行時間と積載量に制限があるという課題を解決するため、電力と農業を有線で受け取る散布ドローンと、有線を吊る補助ドローンを併用して用いる新しい散布システムを、県工業技術センターが開発しました。このシステムにより、農業の大量散布が可能となりました。



行政のDX

全庁で生成AIサービスを導入しました！



県では、令和5年度に行った生成AIの業務活用に関する実証結果をもとに、令和6年4月から、全職員が利用可能な生成AIサービスを導入しました。なお、庁内問合せ対応など業務に特化した生成AIの利活用については、継続して実証を行っています。

子育てサービス施設検索システムを公開！

県では、子育て世帯が利用したい子育てサービスを探す負担を減らすため、地域やサービスごとに事業者の情報を検索できるシステムを公開しました。より使いやすいシステムとなるよう、掲載情報を充実させて、利便性を高めていきます。



最近の県内の動き

防犯アプリ「ふくいポリス」が運用開始！

福井県警察は、防犯アプリ「ふくいポリス」の運用を令和6年2月から開始しました。アプリでは、県内の犯罪発生情報や、防犯対策の情報等をお届けします。また、「ちかん撃退機能」や「防犯ブザー機能」など、防犯に関する様々な機能が利用できます。今後もDXを活用し、県民が安心安全な暮らしを送れるよう取り組んでいきます。



坂井市「デジタル帰宅部」が最終報告会を実施！

坂井市では、「デジタル帰宅部」を令和5年10月から推進してきました。坂井市と関わりのある高校生が、地元の観光名所等の魅力を伝える施策を立案し、そのアイデアを仮想空間に表現する活動です。



その活動の最終報告会が令和6年4月2日に行われました。今年度も2期生を募集し、高校生、市職員および大学生等のメンターと一緒にデジタル空間で交流しながら、新しい地域活動に取り組みます。



若狭町で健康ポイントの事業が開始！

若狭町は、「SDGsみんなdeハッピー健康ポイント」を若狭町公式LINEアカウント上で開始しました。日々の健康づくりの活動でポイントを貯めて、子ども・地域・自分の3つの使い道の中から、それぞれ何ポイント使うか各自で選ぶことができます。自分の健康づくりが、子どもたちや地域など社会のために役立つ、社会貢献型健康づくりの取り組みです。

